第２次 海南市
生涯学習推進計画

人を育み　人をつなぎ　未来を拓く
学びのまち　かいなん

令和５年～ 14 年度

海南市教育委員会

は じ め に

海南市では、市の生涯学習を推進する指針として2013（平成25）年３月に計画期間を10年間とする「海南市生涯学習推進計画」を策定し、社会状況の変化に柔軟に対応しながら、生涯学習の機会の充実に努めてまいりました。

また、地域の学習資源を活用したさまざまな学習機会を提供するなど、市民が積極的に参加できる生涯学習社会づくりを推進し、多くの分野で生涯学習関連事業を行ってまいりました。

そのような中、現代では高齢化や人口減少社会における地域の人間関係の希薄化など、地域や生活を取り巻く環境が大きく変化し、また、科学技術の高度化や情報化など、時代の変化は想像以上に早くなってきております。

このような現状を踏まえ、第３次海南市総合計画が掲げる理想のまちの姿である「元気　ふれあい　安心のまち　海南」の実現に向け、2023(令和5)年度から10年間の生涯学習施策の基本的な考え方や、生涯学習を通じたまちづくりを進めるための方向性を明確に示すため、「第２次海南市生涯学習推進計画」を策定いたしました。

本計画では、生涯学習の更なる推進に向け、引き続き基本理念を「人を育み人をつなぎ　未来を拓く　学びのまち　かいなん」とし、あらゆる関係各課や団体と連携を図りながら、市民の皆様の学びの意欲を一層醸成し、一人一人が主体的に生涯学習に取り組むことができる仕組みづくりを進めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご提言やご意見をいただきました海南市社会教育委員会議や推進懇話会、生涯学習に関する市民アンケートにご協力をいただいた市民の皆様など、多くの関係各位に心から感謝を申し上げますとともに、本市の生涯学習の進展に今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和５年３月

海南市教育委員会　教育長　西 原 孝 幸

目　　次

第１章　策定にあたって

Ⅰ　生涯学習とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
Ⅱ　計画策定の目的と背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
Ⅲ　計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
Ⅳ　計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
Ⅴ　生涯学習とＳＤＧｓ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

第２章　海南市の現状と課題

Ⅰ　統計に見る海南市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
Ⅱ　アンケート調査の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
Ⅲ　推進懇話会と庁内作業部会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
Ⅳ　現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
Ⅴ　第１次計画期間の主な出来事と成果・・・・・・・・・・・・・・・・２１

第３章　理念と施策

Ⅰ　基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
Ⅱ　計画の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
Ⅲ　重点課題への取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
Ⅳ　基本方針と基本施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６

１「一人一人の豊かな人生の実現に向けた生涯学習への取組」

①　幼少期における生涯学習の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
②　青少年期における生涯学習の充実・・・・・・・・・・・・・・・・２７
③　成人期における生涯学習の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
④　高齢期における生涯学習の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・２８

２「家庭・学校・地域が共に学び、育ちあう地域づくりへの取組」

①　公民館活動の充実と学習成果の活用・・・・・・・・・・・・・・・２９
②　家庭・学校・地域の連携の促進・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
③　人権教育の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０

３「多様なニーズに応じた生涯学習に親しむことのできる環境づくりへの取組」

①　文化活動の支援・充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１
②　図書館活動の支援・充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
③　郷土に関する学習の支援・充実・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
④　スポーツ・健康づくりの支援・充実・・・・・・・・・・・・・・・３３
⑤　情報発信と連携促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
⑥　職員研修等の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４

資料編　計画の策定経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
海南市社会教育委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
生涯学習推進計画推進懇話会メンバー名簿・・・・・・・・・・・・３７

第１章　策定にあたって

Ⅰ　生涯学習とは

『生涯学習』とは、人が生涯に行うあらゆる学習活動のことです。

私たち一人一人が自ら進んで学習することを基本としながら、人生の各段階での課題や必要に応じて、あらゆる場所、時間、方法により生涯を通じて学習することをいいます。

また、そのような生涯学習の成果を生かせる社会を「生涯学習社会」といいます。

教育基本法　第三条

（生涯学習の理念）

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

日本では、「教育基本法」において、「生涯学習」について上記のようにその理念が示されており、人々が生涯で行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティアやNPO活動、趣味などによる活動も含まれます。

学習形態は、個人学習、学校での学習、公民館、図書館等の社会教育施設が実施する講座の受講、学習サークル等、さまざまなものがあります。

≪社会教育≫

社会教育は、生涯学習社会を実現するための重要な教育のひとつであり、教育基本法第十二条、および社会教育法第二条で地方公共団体の責務について次のように謳われています。

教育基本法　第十二条

（社会教育）

個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。

社会教育法　第二条

（社会教育の定義）

この法律において、「社会教育」とは、学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)又は就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(平成十八年法律第七十七号)に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）をいう。

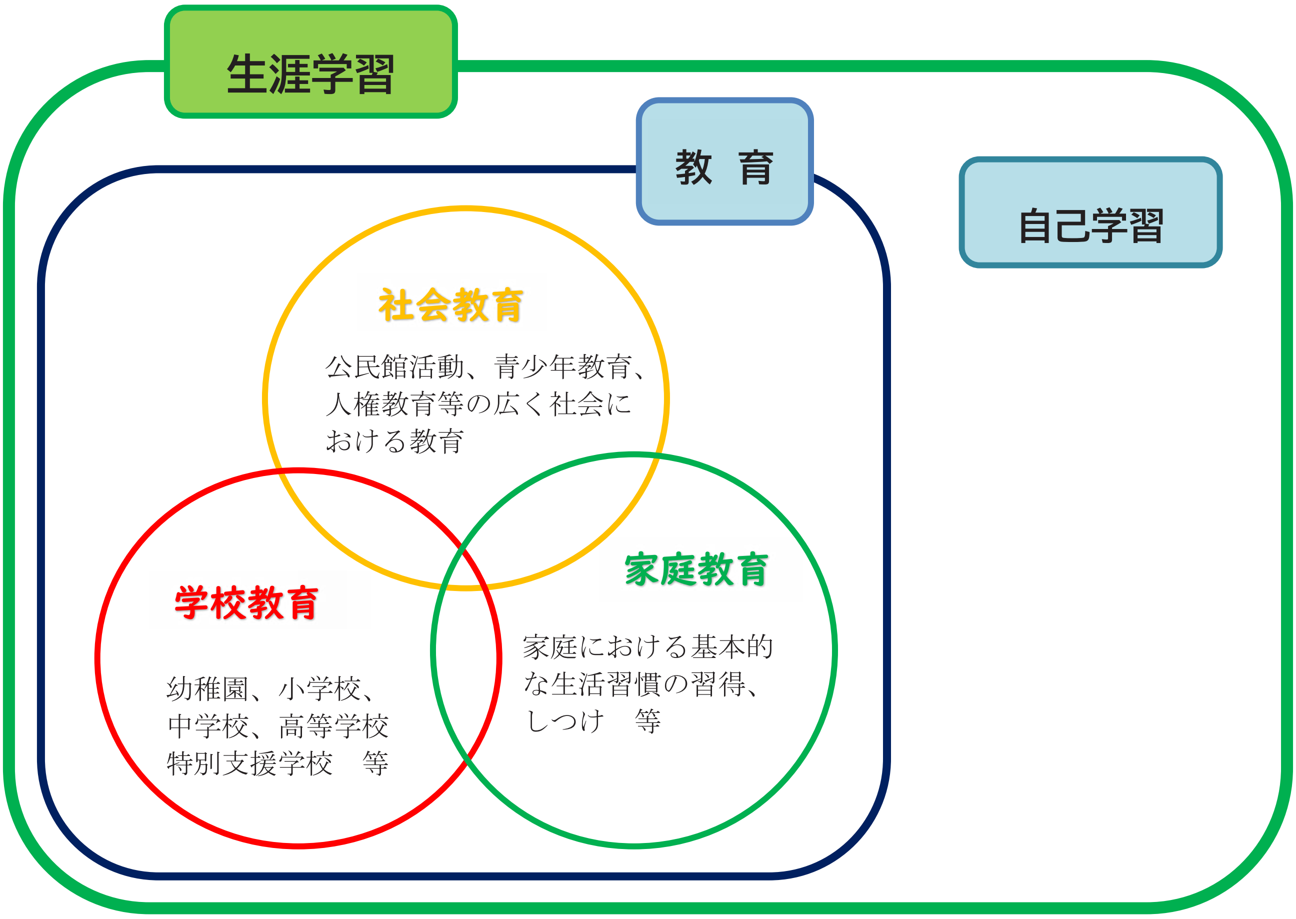
市町村では、市民に対して社会教育活動が円滑に、また活性化されるように、教育環境を整備することや、市民や社会のニーズに応じたさまざまな学習機会を提供することが求められます。

≪家庭教育≫

家庭教育はすべての教育の出発点であり、子どもに対して基本的な生活習慣や生活能力といった、「生きる力」を育む場所です。しかしながら、近年では核家族化や地域社会のつながりの希薄化などで、子育ての仕方を学ぶ機会が減少し、悩みや不安を抱えても相談する人が近くにいないなど、子育てを支える環境も大きく変化しています。

保護者が安心して子育てや家庭教育が行えるよう、家庭教育の大切さを保護者だけでなく地域と共に考え、子育てを社会全体で支援していくことが必要です。

> 教育基本法　第十条
>
> （家庭教育）
>
> ２　国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。



Ⅱ　計画策定の目的と背景

海南市は 2013（平成 25）年に「生涯学習推進計画」（計画期間：10 か年）を策定し、生涯学習の推進に取り組んでまいりましたが、この間に私たちを取り巻く社会情勢は大きく変化し、特に 2019（令和元）年の冬から全世界をおそった「新型コロナウイルス感染症」は、市民生活や生涯学習を進めるうえで大きな影響を与えました。

感染拡大時には、外出や施設の利用制限、講座・イベント・サークル活動等の中止や開催規模の縮小等、さまざまな対応を余儀なくされるなど、これまでのような形で「人と人のつながり」や、「地域や仲間との交流による学習」を進めることが困難な状況となりました。

また、インターネットが急速に普及したことで、パソコンやスマートフォン、タブレットパソコンなどのＩＣＴ機器を活用した活動が盛んとなり、コロナ禍の外出制限と相まって、インターネット上で生涯学習に取り組む方々も増加しており、「対面式での学習」から「オンラインなど個々の学習」へと、学習方法の変化も現れてきています。

このように、私たちの生活様式に加え、生涯学習や地域コミュニティのあり方も大きく変化した社会情勢を踏まえ、すべての市民が生涯学習に親しむ環境整備を進め、「人を育み人をつなぎ　未来を拓く　学びのまちづくり」を引き続き推進していくため、「（第１次）海南市生涯学習推進計画」の見直しを行い、「第 2 次海南市生涯学習推進計画」を策定いたします。

Ⅲ　計画の位置づけ

本計画は、「第 3 次海南市総合計画」が掲げる理想のまちの姿を実現するために、生涯学習社会の実現に向けた生涯学習を推進するための基本となる計画です。

内容については、2013（平成 25）年 3 月に策定した「（第１次）海南市生涯学習推進計画」の成果や、「生涯学習市民アンケート調査」（2022（令和 4）年 2 月実施）結果を基に、海南市社会教育委員会議や市内の関係団体及び学識経験者等で組織した「生涯学習推進計画推進懇話会」、「庁内作業部会」での意見を反映させ、今後の本市における生涯学習のあり方、施策等の方向性を明らかにするものです。

加えて、「第 3 次海南市総合計画」、「第 2 期海南市スポーツ推進計画」、「第 3 次海南市子供読書活動推進計画」などの関連する計画と整合性を持たせるものとし、関連する計画の改定があった場合や、社会情勢やそれぞれの計画の進捗状況及び市民ニーズの変化などにより、本計画の見直しが必要となった場合は、海南市社会教育委員会議に諮問するなど、適切に対応することとします。

Ⅳ　計画の期間

本計画は、2023（令和 5）年度から 2032（令和 14）年度までの 10 年間を計画期間とします。ただし、2027（令和 9）年度に海南市社会教育委員会議のご意見を基に、中間見直しを行うものとします。

Ⅴ　生涯学習とＳＤＧｓ

ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）とは、2015(平成 27)年に国連において採択された、よりよい世界をめざす国際目標で、17 の大きな目標と、それらを達成するための 169 のターゲットで構成されています。

生涯学習の主な分野としては、第 3 のゴール「すべての人に健康と福祉を」、第 4 のゴール「質の高い教育をみんなに」、第 11 のゴール「住み続けられるまちづくりを」、が挙げられますが、ジェンダー平等や人や国の不平等をなくすことなど、そのほかのゴールについても生涯学習による取組が必要となる目標もあります。

本市では、第 3 次海南市総合計画において基本計画を構成する各基本施策に関連する目標を掲載し、総合的な施策の展開を図っており、本計画でも第 3・第 4・第 11 のゴールを中心として、目標の達成を意識した取組を進めていきます。

第２章　海南市の現状と課題

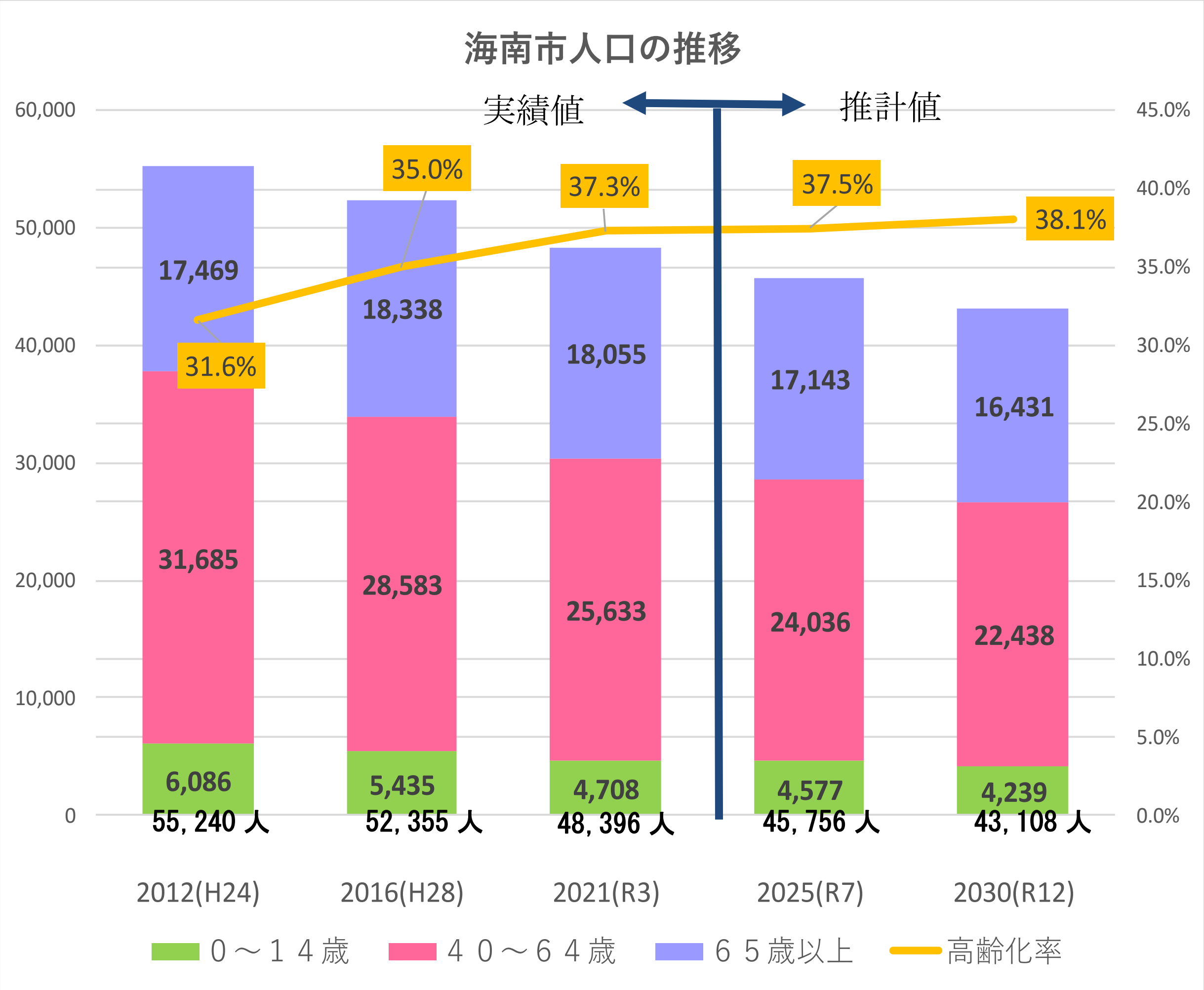
Ⅰ　統計に見る海南市

人口推移

海南市の総人口の推移をみると、2012（平成 24）年度では 55,240 人であったのが、2021（令和 3）年度には 48,396 人となり、この 10 年間で 6,844 人（12.4%）減少しています。

年齢別でみると 14 歳以下は 6,086 人から 4,708 人と、1,378 人減少しており、23.7%減少したことになります。一方で、65 歳以上は、17,469 人から 18,055 人と 586 人増加し、5.2%増加しています。高齢化率（人口に占める 65 歳以上の割合）では 31.6%から 37.3%と 5.7%上昇しており、この 10 年間で少子高齢化が進行していることがうかがえます。

また、2020（令和 2）年 3 月に策定した第 2 期海南市人口ビジョンでは、2030(令和 12)年には本市の人口は 43,108 人となると推計されており、更なる社会の変化を見据えた生涯学習推進計画の策定が必要です。



総務省統計局発表（各年 3 月 31 日現在）
第 2 期海南市人口ビジョン（R7,R12）

Ⅱ　アンケート調査の結果

第２次海南市生涯学習推進計画の策定にあたり、2022（令和 4）年 2 月に、18 歳以上の市民 1,000 人を対象に「生涯学習市民アンケート調査」（以下「アンケート調査」という。）を実施しました。

項　目	内　　　　　容
調査目的	生涯学習に関する市民のニーズを把握し、『第 2 次海南市生涯学習推進計画』検討の基礎資料とするため
調査対象	市内在住の 18 歳以上の方 1,000 人を無作為抽出
調査期間	2022（令和 4）年 2 月 14 日～2022（令和 4）年 3 月 11 日
調査方法	郵送によるアンケート調査
回収状況	回収数：386 票（男性 137　女性 204　無回答 45）

（１）アンケート結果

【問１】あなたの年代は。（○を 1 つ）

10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上	無回答
3	**36**	**34**	**70**	**62**	**70**	**105**	**6**

【問 2】あなたのお住いの小学校区は。（○を 1 つ）

1. 黒江小学校区　2. 日方小学校区　3. 内海小学校区　4. 大野小学校区
5. 亀川小学校区　6. 巽小学校区　7. 北野上小学校区　8. 中野上小学校区
9. 南野上小学校区　10. 旧仁義小学校区　11. 旧加茂第一小学校区　12. 旧加茂第二小学校区
13. 塩津小学校区　14. 大東小学校区　15. 旧大崎小学校区　16. 下津小学校区

1	2	3	4	5	6	7	8	9
37	**43**	**30**	**43**	**47**	**48**	**20**	**20**	**11**
10	11	12	13	14	15	16	無	計
5	**21**	**4**	**4**	**28**	**4**	**18**	**3**	**386**

【問 3】あなたは今、何をされていますか。（○を 1 つ）

1. 農林水産業従業者　2. 自営業（農林水産漁業を除く商店、企業経営など）
3. 勤め人（民間企業、団体など）　4. 勤め人（公務員、教員）
5. 専業主婦、主夫　6. パート、アルバイト　7. 学生　8. 無職　9. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答	計
16	**28**	**92**	**39**	**51**	**60**	**10**	**78**	**9**	**3**	**386**

【問 4】あなたは、この 1 年間でどのような「生涯学習」をしましたか。（あてはまるものすべてに○）

①内容について

1. 趣味的なもの（音楽・美術・書道など）
2. 教養的なもの（文学・歴史・教育・人の生き方など）
3. 健康づくり（スポーツ・健康・栄養など）
4. 子育て・教育に関するもの（家庭教育・子育て支援など）
5. 社会的課題に関するもの（地域問題、環境問題、時事問題、国際問題など）
6. 職業的なもの（仕事に関する知識や技術など）
7. ボランティア活動　8. その他　9. していない

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
2022.2 (R4.2)	89	52	112	37	25	108	31	4	134	592
	15%	9%	19%	6%	4%	18%	5%	1%	23%	100%
2011.12 (H23.12)	89	50	104	26	39	72	13	12	188	593
	15%	8%	18%	4%	7%	12%	2%	2%	32%	100%

②形態について

1. カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間（NPO を含む）の講座や教室
2. 公共施設における都道府県や市町村の講座や教室
3. 学校（高等・専修・各種学校、大学）の正規課程、公開講座や教室
4. 職場の教育、研修　5. 同好者が自主的に行っている文化・サークル活動
6. オンライン配信による講座【新設】　7. その他

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	合計
2022.2 (R4.2)	55	52	16	86	41	38	45	333
	17%	16%	5%	26%	12%	11%	14%	100%
2011.12 (H23.12)	47	66	13	50	79		31	286
	16%	23%	5%	17%	28%		11%	100%

③場所について

1. 図書館・公民館・体育館などの社会教育・体育施設　2. 学校施設
3. その他の公共施設　4. 民間のカルチャーセンター等
5. 自宅での学習活動（通信教育や書籍など）　6. 自宅でのオンライン講座など【新設】
7. その他

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	合計
2022.2 (R4.2)	79	24	60	13	57	35	41	309
	26%	8%	19%	4%	18%	11%	13%	100%
2011.12 (H23.12)	104	21	69	25	41		25	285
	36%	7%	24%	9%	14%		9%	100%

・「1. 社会教育・体育施設」が減少した一方、「5. 自宅での学習活動」が増加している。

【問 5】あなたは、「生涯学習」に関する情報をどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市報
2. 海南市ホームページ、海南市 Facebook、海南市メール配信サービス、海南市公式 LINE
3. インターネット、ＳＮＳ
4. 新聞等の広報誌
5. テレビ・ラジオ
6. 知人・友人からの声掛け
7. 公民館便り
8. 学校や職場
9. どこからも情報を入手していない【新設】
10. その他

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
2022.2 (R4.2)	159	35	89	54	33	74	33	62	73	7	619
	26%	6%	14%	9%	5%	12%	5%	10%	12%	1%	100%
2011.12 (H23.12)	134	12	7	27	12	45	65	10		1	313
	43%	4%	2%	9%	4%	14%	21%	3%		0%	100%

・「3. インターネット、ＳＮＳ」により情報を入手している方が増加しているが、前回、今回とも「1. 市報」が多くなっている。

【問 6】あなたは、この 1 年間でどのような活動のために海南市内の社会教育施設や文化施設を利用しましたか。（あてはまるものすべてに○）

※社会教育施設…公民館、図書館、博物館など

※文化施設…劇場、ホールなど（海南市内では市民交流センター）

1. 文化祭や芸能発表会などの行事に参加した
2. その施設の主催事業や教室・講座などに参加した
3. 自治会関係団体、スポーツ少年団や PTA などの団体の集会場所や会議室として利用した
4. 趣味のグループやサークル活動の場として利用した
5. 作品などを鑑賞した（映画・音楽・演奏会・演劇・絵画・写真など）
6. 図書の貸出、読書や閲覧
7. 子育てのための講座やイベントへの参加
8. その他
9. 利用しなかった

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
2022.2 (R4.2)	38	37	24	30	48	116	9	5	185	492
	8%	8%	5%	6%	10%	24%	2%	1%	38%	100%

・「6. 図書の貸出、読書や閲覧」の利用が多い一方で、「9. 利用しなかった」が最も高くなっている。

【問 7】海南市内の社会教育施設や文化施設についての希望や要望はありますか。（○は３つまで）

1. 働きざかりの成人や子育て中でも参加しやすい日程で講座や事業を開催する
2. その施設で実施している講座やイベントの情報をもっと PR する
3. 生涯学習に関する事業や地域の行事や活動を知るための情報発信サービスを充実させる
4. 参加者同士の交流や仲間づくりを目的とした講座や事業を充実させる
5. 有料でも良いので専門性の高い内容の講座や事業を充実させる
6. 自分の住んでいる地域を知ることを目的とした講座や事業を開催する
7. 社会情勢がよくわかる内容の講座や事業を充実させる
8. 図書室を充実させる
9. 研修室や会議室の使用料を安くするなどより利用しやすくする

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
2022.2 (R4.2)	126	115	80	56	73	53	32	68	37	640
	20%	18%	13%	9%	11%	8%	5%	11%	6%	100%

・「1. 働き盛りの成人や子育て中でも参加しやすい日程…」が上位を占めている。

【問 8】あなたは、「生涯学習」を通じて身に付けた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 自分の人生を豊かに、充実させるため
2. ボランティアや地域活動、NPO 活動
3. 仕事や就職・転職の上で
4. 家庭生活や日常生活に
5. 子育てや次世代の子どもたちのために
6. 自分の健康の維持・増進に
7. 他の人の生涯活動の指導に
8. 生かせていない【新設】
9. その他

（※前回 7. 更に高度な専門知識・技能を身に付けるために　8. 他の人の生涯学習の指導に）

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
2022.2 (R4.2)	179	27	86	102	59	117	7	57	6	640
	28%	4%	13%	16%	9%	18%	1%	9%	1%	100%
2011.12 (H23.12)	90	15	24	45	15	59	8		3	259
	35%	6%	9%	17%	6%	23%	3%		1%	100%

・「3. 仕事や就職・転職のうえで」が増加している。

・生涯学習で身に付けたことを「1. 自身の生活の充実や健康づくりに生かしている方が多く、「2. ボランティア」「7. 他者への指導」などに生かしている方が少ない。

【問 9】あなたは、今後「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、海南市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 施設などにおけるサービスを充実すること（開館時間の拡大、施設間の連携など）
2. 専門職員（社会教育主事、司書、体育指導者など）を育成し、配置すること
3. 生涯学習を支援する地域の人材を育成すること（体育指導者、地域コーディネーターなど）
4. 生涯学習に関する情報を得やすくすること
5. 子どもの教育に関わって学校と地域との連携や協力を深めていくこと
6. 住民のニーズや満足度などをしっかりと把握し、事業実施していくこと
7. 社会教育団体、青少年団体等のボランティア活動を活発にさせたり、その活動を支援したりすること
8. 生涯学習を通じて身に付けた知識や成果が発揮させる場や機会をつくること
9. その他

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
2022.2 (R4.2)	136	72	76	156	78	108	41	65	11	743
	18%	10%	10%	21%	10%	15%	6%	9%	1%	100%
2011.12 (H23.12)	193	79	134	157	53	88	47	39	12	802
	24%	10%	17%	20%	7%	11%	6%	5%	1%	100%

・「1．施設の充実」「4. 情報提供」へのニーズが高い。

家庭教育、地域教育について

【問 10】あなたは、現在の社会において『家庭の教育力』が低下していると思いますか。（○を 1 つ）

1. そう思う　2. 少し思う　3. あまり思わない　4. 思わない
5. わからない

アンケート時期	1	2	3	4	5	無回答	合計
2022.2 (R4.2)	104	148	44	19	56	15	386
	27%	38%	11%	5%	15%	4%	100%

・「1. そう思う」と「2. 少し思う」を併せると 65%となり、約 2/3 の人が家庭の教育力の低下を感じている。

【問 11】あなたは、現在の家庭教育で特に問題になっていることはどのようなことだと思いますか。（〇は３つまで）

1. 過保護・過干渉な親の増加
2. 家庭外へのしつけや教育への依存
3. 子どもに悪影響を及ぼす社会環境
4. しつけの仕方がわからない親の増加
5. 他の子どもや人と触れ合う機会の不足
6. 親の無関心
7. 子ども自身がいろいろな体験をする機会の不足
8. 親子が触れ合いともに行動する機会の不足
9. 孤立した子育て・悩みについての相談相手の不足
10. 親自身の体験活動の不足
11. 子育てに自信を持てない親の増加
12. 子育て家庭に対しての社会の理解のなさ
13. その他

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	合計
2022.2 (R4.2)	154	86	101	129	97	51	95	42	58	40	21	30	10	914
	17%	9%	11%	14%	11%	6%	10%	5%	6%	4%	2%	3%	1%	100%

・家庭教育の問題点については「1. 過保護・過干渉な親の増加」、「4. しつけの仕方がわからない親の増加」が上位を占めている。

【問 12】あなたの住んでいる地域での教育力は、ご自身の子ども時代と比べてどのような状況にあると思いますか。（〇を１つ）

1. 低下している　**【問 12-1 へ】**
2. 以前と変わらない
3. 向上している
4. わからない

アンケート時期	1	2	3	4	無回答	合計
2022.2 (R4.2)	133	40	42	163	8	386
	34%	10%	11%	42%	2%	100%

【問 12-1】地域の教育力が低下している原因はなんだと思いますか。（〇は３つまで）

1. 地域の人々との触れ合いや、親交を深める場や機会が不足しているから
2. 居住地に対する愛着や親近感が希薄化しているから
3. 他人と交流することに対するわずらわしさや抵抗が増えているから
4. 昔より地域の行事やつながりが減少しているから
5. 共働き世帯が増加し、家庭での教育や地域活動への参加が困難になってきているから
6. よその家の子どもを見てくれたりする地域の世話役やリーダーが不足しているから
7. 新しく移住してきた世帯が増加しているから
8. 大人も子どもも忙しく、生活にゆとりがないから

9.　地域だけでなく行動範囲が広域化しているから

10.　その他

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
2022.2 (R4.2)	108	39	96	88	108	25	19	109	10	7	609
	18%	6%	16%	14%	18%	4%	3%	18%	2%	1%	100%

【問 13】地域で子どもが健やかに育てられるように地域ではどのようなことに特に力を入れるべきであると思いますか。（○は３つまで）

1.　親や保護者が日常的に集まって子育てについて情報交換できる環境づくり

2.　家庭教育・子育てについて身近な相談体制を作ること

3.　家庭教育支援者や子育てに関するボランティア等を育成すること

4.　家庭教育に関する情報の配信、資料の作成や配布

5.　子育て家庭の子育てや家事、子どもの預かりなどの支援体制づくり

6.　子どもに勉強やスポーツ、地域の歴史や文化などを教えてくれる人材や場所の確保

7.　子どもの防犯のための声掛けや登下校の見守り体制づくり

8.　子どもと保護者や地域住民が共に参加できる地域の行事や祭りなどがあること

9.　その他

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
2022.2 (R4.2)	75	132	41	57	110	115	96	132	11	769
	10%	17%	5%	7%	14%	15%	12%	17%	1%	100%

・「2.身近な相談体制を作ること」、「8. 地域住民が共に参加できる地域の行事や祭りなどがある」への回答が上位を占めている。

【問 14】あなたは、次の地域活動に参加していますか。また、これからどんな活動に参加してみたいですか。（○は３つまで）

1.　家庭教育支援に関する活動（子育てサークル、託児など）

2.　学校教育支援に係る活動（PTA 活動、登下校安全パトロールなど）

3.　地域の子どもに関わる活動（共育コミュニティ活動、地域ふれあい活動、児童委員など）

4.　学習活動に関する活動（講師、講座の企画・運営など）

5.　地域の安全に関する活動（自治会、女性会、体育協会など）

6.　地域の安全に関する活動（防災活動、交通安全に関する活動など）

7.　地域の高齢者や福祉に関する活動（社会福祉協議会、老人クラブ、民生委員など）

8.　地域性や地域の歴史、伝統などを活かした活動（伝統文化の継承、語り部など）

9.　NPO やボランティア団体などに所属して行う活動

10.　特にしていない（これからもするつもりはない）

11.　その他

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合計
2022.2 (R4.2)	34	53	32	14	56	38	18	14	14	182	12	467
	7%	11%	7%	3%	12%	8%	4%	3%	3%	39%	3%	100%

【問 15】あなたは、現在、ボランティア活動をしていますか。（○を１つ）

1.　現在している　　2.　以前したことはあるが、現在はしていない**【問 15-1 へ】**

3.　まったくしたことがない**【問 15-1 へ】**

アンケート時期	1	2	3	無回答	合計
2022.2 (R4.2)	42	106	227	11	386
	11%	27%	59%	3%	100%
2011.12 (H23.12)	41	91	274	26	432
	9%	21%	63%	6%	100%

【問 15-1】　あなたがボランティア活動をしていない理由はなんですか。

（あてはまるものすべてに○）

1.　仕事が忙しいから

2.　趣味や他にやりたい活動があり、時間がないから

3.　家族の理解が得られないから

4.　上司の理解が得られないから

5.　人間関係がうまく作れそうにないから

6.　情報が不足しているから

7.　活動に要する技術や知識を持っていないから

8.　活動経費などの経済的な理由から

9.　身近に相談できる人やリーダーがいないから

10.　事故にあうなど安全の問題が心配であるから

11.　したいと思う活動がないから

12.　ボランティア活動に関心がないから

13.　その他

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	合計
2022.2 (R4.2)	146	83	6	0	19	51	43	12	14	13	55	34	36	512
	29%	16%	1%	0%	4%	10%	8%	2%	3%	3%	11%	7%	7%	100%
2011.12 (H23.12)	140	78	6	1	20	69	58	13	16	4	38	32	59	534
	26%	15%	1%	0%	4%	13%	11%	2%	3%	1%	7%	6%	11%	100%

図書館についてお聞きします

【問 16】あなたは、海南 nobinos を利用したことはありますか。（〇を１つ）

1.　よく利用する**【問 16−1 へ】**　　2.　たまに利用する**【問 16−1 へ】**

3.　利用したことがない

アンケート時期	1	2	3	無回答	合計
2022.2 (R4.2)	53	164	163	6	386
	14%	42%	42%	2%	100%

【問 16-1】海南 nobinos を利用した目的は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

1.　図書館として利用するため　　2.　多目的室や会議室を利用するため

3.　nobinos ホール等の催事に参加するため

4.　ギャラリーの展示を鑑賞するため

5.　子どもを遊ばせるため　　6.　カフェを利用するため

7.　勉強するため　　8.　その他

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	8	合計
2022.2 (R4.2)	163	47	24	37	44	101	23	9	448
	36%	10%	5%	8%	10%	23%	5%	2%	100%

・図書館としての利用やカフェを利用する割合が高い。

【問 17】下津図書館や海南 nobinos、公民館等の図書室を利用したことがありますか。

（〇を１つ）

1.　利用したことがある**【問 17-1、問 17-2 へ】**　2.　利用したことがない　**【問 17-3 へ】**

アンケート時期	1	2	無回答	合計
2022.2 (R4.2)	215	159	12	386
	56%	41%	3%	100%

・市内の図書館を「利用したことがない」が４割を超えている。

【問 17-1】図書館や図書室を利用する主な目的はなんですか。（あてはまるものすべてに〇）

1.　図書、視聴覚資料、図書資料を借りる、返すため

2.　図書、雑誌、新聞などを閲覧するため

3.　調べものをするため　　4.　子どもの図書館利用の付き添いのため

5.　図書館で勉強する、仕事をするため　　6.　展示や読み聞かせに参加するため

7.　図書館で録音資料を聞く、映像資料を見る、パソコンを利用するため

8.　その他

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	8	合計
2022.2 (R4.2)	126	125	56	71	29	7	3	6	423
	30%	30%	13%	17%	7%	2%	1%	1%	100%

【問 17-2】図書館や図書室をどのくらいの頻度で利用しますか。（○を１つ）

1.　年１回　　2.　年２～３回　　3.　2～3 か月に１回

4.　1 か月に 1 回　　5.　1 か月に 2 回以上

アンケート時期	1	2	3	4	5	合計
2022.2 (R4.2)	41	61	61	25	37	225
	18%	27%	27%	11%	16%	100%

【問 17-3】図書館や図書室を利用しない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

1.　本や雑誌は自分で購入するから

2.　図書館や図書室に行く必要性を感じない、興味がないから

3.　時間がないから　　4.　図書館や図書室が近くにないから

5.　場所が分からないから　　6.　利用手続きが面倒から

7.　どんな本があるかわからないから　　8.　交通が不便であるから

9.　その他

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
2022.2 (R4.2)	80	46	60	20	3	5	19	21	29	283
	28%	16%	21%	7%	1%	2%	7%	7%	10%	100%

【問 18】あなたが図書館に望むものはなんですか。（あてはまるものすべてに○）

1.　読みたい本がたくさんある　　2.　調べたいことがわかる本がある

3.　必要な本が探しやすい、すぐ手に入る

4.　調べたいことについて気軽に聞くことができ、頼りになるスタッフがいる

5.　静かに読書できるスペースがある　　6.　学習するスペースがたくさんある

7.　朝早くから、または夜遅くまで開館している

8.　民間のノウハウを導入し、より効率のいい図書館運営を行っている

9.　ユニバーサルデザインに配慮した図書館である

10.　参加したい催し物をたくさん行っている

11.　ボランティアとして図書館活動に参加できる

12.　ゆっくりと滞在することができる

13.　その他

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	合計
2022.2 (R4.2)	192	138	150	65	111	63	72	32	24	35	5	134	16	1,037
	19%	13%	14%	6%	11%	6%	7%	3%	2%	3%	0%	13%	2%	100%

スポーツについてお聞きします

【問 19】あなたがスポーツや運動を行っている頻度は次のうちどれですか。(1 回につき 30 分以上)（○を１つ）

1. 週３回以上【問 19-1 へ】　2. 週１～2 回以上【問 19-1 へ】
3. 月１～3 回【問 19-1 へ】　4. しない【問 19-2 へ】

アンケート時期	1	2	3	4	無回答	合計
2022.2 (R4.2)	49	66	52	207	12	386
	13%	17%	13%	54%	3%	100%

【問 19－1】あなたがスポーツを行う理由（目的）は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 健康を維持したいから　2. 体力、筋力を維持増進したいから
3. ストレス解消（気晴らしやリフレッシュ）したいから
4. 友人、仲間と交流したいから　5. 参加しやすいクラブやサークルがあるから
6. 自己の記録や能力を向上させたいから　7. その他

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	合計
2022.2 (R4.2)	129	117	70	48	19	12	7	402
	32%	29%	17%	12%	5%	3%	2%	100%

【問 19-2】あなたがスポーツや運動をしない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

1. きっかけがないから　2. 仕事等で時間がないから　3. 身近に施設、場所がないから
4. 行事、イベントがないから　5. 仲間がいないから　6. 体調不良、病気のためから
7. 運動が苦手だから

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	合計
2022.2 (R4.2)	67	108	27	4	24	33	38	301
	22%	36%	9%	1%	8%	11%	13%	100%

・問 19 においてスポーツを実施していない人が半数以上あり、実施できない理由として問 19-2「2. 仕事等で時間がないから」が上位を占めている。
・問 19-1 によると、スポーツを実施している人は、健康や体力維持を目的に行っている人が上位を占めている。

【問 20】あなたは海南市内の公共スポーツ施設を利用したことはありますか。（○を１つ）

1.　ある　　2.　たまにある　　3.　ほとんどない

アンケート時期	1	2	3	無回答	合計
2022.2 (R4.2)	74	47	254	11	386
	19%	12%	66%	3%	100%

【問 21】公共スポーツ施設を利用するうえで、特に要望することはなんですか。

（○は３つまで）

1.　利用手続きを簡素化してほしい
2.　利用料金を安くしてほしい
3.　駐車場を広くしてほしい
4.　交通の利便性をよくしてほしい
5.　施設の設備を充実させてほしい
6.　利用時間を延ばしてほしい
7.　その他

アンケート時期	1	2	3	4	5	6	7	合計
2022.2 (R4.2)	84	137	37	34	118	49	26	485
	17%	28%	8%	7%	24%	10%	5%	100%

【問 22】あなたは、「ＳＤＧｓ」という言葉を知っていますか。（○を１つ）

1.　知っている**【問 22-1 へ】**　　2.　知らない

アンケート時期	1	2	無回答	合計
2022.2 (R4.2)	226	146	14	386
	59%	38%	4%	100%

【問 22－1】ＳＤＧｓ第 4 のゴールを目指すため、生涯学習の機会の促進に求められることはどのようなことだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1.　誰もが排除されることなく、学ぶことができる環境の整備
2.　障害があっても学ぶことができる環境づくり
3.　学校教育、社会教育の場においてＳＤＧｓについての教育を促進する
4.　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

アンケート時期	1	2	3	4	合計
2022.2 (R4.2)	214	142	143	9	508
	42%	28%	28%	2%	100%

（２）アンケート調査の意見（抜粋）

◆ 生涯学習への一歩がなかなか踏み出しにくい。

◆ 各々の内側から学ぶ目的が芽生えてくるような学校教育と社会づくりが必要。

◆ 新型コロナウイルス感染拡大等に伴い、パソコン(Zoom など)での学習が当たり前になりつつあり、今後もこのような状況が続くと考えられるため、自宅でも楽しく学習できる工夫を考えられたらよいと思う。

（３）アンケート調査からうかがえること

◆ 前回調査よりも「生涯学習をした人」が増加している。

➡「生涯学習」をした人は 68%から 77%まで増加している。

◆ コロナ禍の中、外出に制限があったため、公共施設等で生涯学習をする人は減少しているが、自宅での通信教育やオンライン講座等で学習する人が増加している。

➡「集団での学習」から「個での学習」へ変化しつつある。

◆ 通信教育やオンライン講座等の学習は、情報伝達技術（ＳＮＳ等）の発達によるものも多いのではないか。

➡ 学習方法が多様化している。

◆ 「生涯学習」に関する情報をインターネットやＳＮＳから入手している人が増加しているが、前回、今回の調査においても「市報」が最も多い。

➡ 市報での情報発信に加え、新たな情報発信ツールを検討するなど、情報収集方法の拡大に努める必要がある。

Ⅲ　推進懇話会と庁内作業部会

計画の策定にあたり、市内の生涯学習にかかわる団体や市民の皆様による「推進懇話会」と、庁内の関係部署で構成した「庁内作業部会」を開催し、本市の生涯学習についての現状等についての意見をうかがいました。それぞれの会で頂戴した主な意見、現状と課題については下記のとおりです。

推進懇話会での主な意見

◆海南市の生涯学習施策は十分に手厚いと感じているので、それを**もう少しうまくPRし、必要な方に届ける**ことができれば…。

◆『海南駅においてあるピアノ』が、そこにあることで自由に音楽を奏でることができるように、生涯学習についても学べるきっかけづくりが必要ではないか

◆ここ数年で、スマートフォンの所持率もあがり、情報の収集方法も10年前とは大きく変わっている。行政側も**情報の発信方法**を変えていかなくてはならない。

◆動画配信サイトの「勉強動画」などは非常にハイレベル。このような**新しい「学び」**の形態も生涯学習として位置付けていくべきだろう。

◆公民館などのように学習するだけでなく、**人と人が出会い、認め合い、励まし合う場所づくり**も必要ではないでしょうか。

◆必要な時に必要な情報を手に入れることができれば、生涯学習を始めるきっかけとなるのではないか。

◆図書館と公民館など、**施設間同士の連携**が必要ではないか。

庁内作業部会での主な意見

◆時代の流れに合った施策の実施のためには、『ニーズ』の把握が必要。

◆ 少子高齢化、核家族化の影響で、高齢の方で孤立している方もいる。行政が取り組むならば、地域課題の解決の視点が必要。

◆各部署の連携が非常に重要であり、連携することで情報の発信や情報の共有ができ、より「生涯学習」を広めることができるのでは。

◆社会が多様化していることから、個人の学びを深めることができる環境づくりとともに、地域のコミュニティの再構築を図るため、公民館や海南nobinosのような社会教育施設の整備が必要である。

Ⅳ　現状と課題

アンケート調査の結果と「推進懇話会」「庁内作業部会」での意見、そして今後の生涯学習施策を考えるうえで影響がある「人口減少」「少子高齢化」や、新型コロナウイルス感染症等の影響による「社会情勢の変化」等を踏まえ、本市の現状と課題を以下のように整理しました。

１．社会の多様化と両極化への対応

新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、人と人が対面で接することへの制約が生じています。その結果、人と人とのつながりの必要性を感じている人がいる一方で、人とのかかわりを避けようとする人もいるなど、考え方が多様化しています。

また、生涯学習活動に対しても、「熱心な人」と「自分には必要性が低い」と感じている人との両極化が垣間見えるという意見もありました。

そのような中、従来から「学び」を提供できている方々への「更なる支援」と、本当に「学び」が必要でありながら、そのことに気づいていない方々への「きっかけづくり」の双方を進めていく必要があります。

２．個人と地域をつなぐ「学び」の重要性

社会の変化等に伴い、人々の生活がさまざまな場面で「集団」から「個人」に移り変わっていることがうかがえました。新型コロナウイルス感染症の影響により、従来のように「繋がる」ことが困難な状況のなかで、「個人」による学びを支援しながらも、その学びが個人だけにとどまらず、地域に生かすことができるようにするなど、「地域のつながり」へと繋げていくような取組を進めていく必要があります。

３．新しい情報発信とニーズの把握

スマートフォンの普及等により人々の情報収集の方法が大きく変化し、手軽にＳＮＳで情報交換し、必要な情報は即座にスマートフォンで検索することができるようになりました。

生涯学習に関する情報を、ＳＮＳを活用してスピーディーに発信するとともに、「学びの形態」についてもスマートフォンなど新たなツールを活用し、ビジネスパーソンや子育て世代などが自由な時間に学ぶことができる「新しい学びの形態」をつくるとともに、ＳＮＳを活用し、利用者のニーズ把握に努めていく必要があります。

４．関係機関の連携強化

高齢化や人口減少が進行するなか、「各種団体」や「庁内関係部署」が連携を深めながら、生涯学習を行う人を支援する必要があります。

また、海南 nobinos などの新しい施設を活用することで、多様な世代の学びの場を創造していくとともに、地域の人々の身近な距離にある「公民館」と「各施設間の連携」を深めることにより、より効果的に「学びの提供」を進めていく必要があります。

Ⅴ　第１次計画期間の主な出来事と成果

＜主な出来事＞

（第 1 次）生涯学習推進計画の実施期間である、2013（平成 25）年から 2022（令和 4）年までの 10 年間、生涯学習推進にかかるさまざまな施策を実施し、推進してきました。主な出来事は以下のとおりです。

2014（平成 26）年度

・海南スポーツセンター開館

旧海南市立第一中学校の跡地に、一部廃校施設を利用した、宿泊施設併設型のスポーツ施設が開館しました。人工芝のフットサルコートもあり、県外から多くのスポーツチームが合宿等に利用しています。

2015（平成 27）年度

・紀の国わかやま国体・大会開催

和歌山県においては 1971（昭和 46）年の第 26 回の黒潮国体から 44 年ぶりの国体が開催されました。海南市では正式種目として成年女子のバスケットボール競技、銃剣道競技、ライフル射撃競技等が、また、障害者スポーツ大会としてバレーボール競技（知的）が開催され、多くの方が本市に来場し、市民ボランティアの皆様の「おもてなし」などにより大会を成功に導くことができました。

・大崎公民館誕生

2005（平成 17）年度の海南市と下津町との合併後、旧下津町地域においても公民館設置を進めるという（第 1 次）生涯学習推進計画のもと、旧下津町地域に「大崎公民館」が誕生しました。

地域住民の社会教育の施設として、また、地域コミュニティの拠点として、現在も講座やサークル活動等、活発な活動が行われています。

・熊野参詣道（紀伊路）が国の史跡に指定される

海南市内を通る熊野参詣道紀伊路のうち、「藤白坂」「藤白王子跡」「藤代塔下王子跡」「市坪王子跡」が史跡「熊野参詣道」に「紀伊路」として追加指定されました。このことにより、現在、史跡内にある全国鈴木姓のルーツとされる「鈴木屋敷」等の整備事業に着手しています。

2019（令和元）年度

・海南市民会館閉館

1963（昭和 38）年から市内の生涯学習の拠点としてご利用いただいた市民会館が 2020（令和 2）年 3 月末で閉館となりました。併設していた中央公民館は保健福祉センター内に事務所を設置し、現在も地区公民館の連携調整に取り組んでいます。

・児童図書館閉館

旧海南市役所の移転に伴い、1978（昭和 53）年 7 月から本市の子どもたちの図書との出会いの場となっていた児童図書館が、2020（令和 2）年 1 月末に閉館となりました。

新たに設立された海南 nobinos についても「絵本開架冊数日本一」となっており、子どもたちが図書に親しむ環境づくりに引き継がれています。

2020（令和 2）年度

・海南 nobinos 開館

海南 nobinos は、「図書館への入口となる図書館」として、2020（令和 2）年 6 月 1 日に開館しました。図書館機能を核としながらも、市民活動生涯学習活動支援機能、子育て支援機能、広場のほか、スターバックスコーヒーも出店しており、従来の図書館のイメージに捉われず、普段読書が目的でない人を図書館に呼び込む、「新しいカタチの図書館」となっています。

開館以来、多くの方が来館され、図書に触れる機会の創出に寄与しています。

・塩津公民館誕生

2015（平成 27）年度の大崎公民館に続き、旧下津町地域で 2 番目に誕生した公民館となります。地域住民にとって身近な地域で多彩な講座やサークル活動が活発に行われ、地域の各種団体と連携を取りながら、世代を超えた地域づくりに寄与しています。

2021（令和 3）年度

・黒江防災コミュニティセンターへ黒江公民館機能の移行

1974（昭和 49）年に建設された黒江公民館は、老朽化が進み耐震基準を満たしていないため、これを除却し、公民館機能を 2021（令和 3）年 11 月に黒江防災コミュニティセンターに移行しました。公民館跡地は黒江防災コミュニティセンター利用者駐車場として整備され、利便性が高まっています。

・家庭教育支援チーム「かいなんＰＯＴ」発足

家庭教育支援事業を進めるうえで、遊戯指導員、託児支援員、講座等の企画・運営支援員で構成される「海南市家庭教育支援チーム　かいなんＰＯＴ」を 2021（令和 3 年）4 月に立ち上げました。既存の「子育てひろば」「ほっとカフェ」「親子ヨガ」のほか「子育て講座」を開催し、子育て中の保護者に対する学びの場を提供しています。

＜主な成果＞

（第１次）海南市生涯学習推進計画の実施期間における主な成果は下記のとおりです。

◎　**未来を拓く学びの推進**
～家庭・学校・地域・行政が協働し、海南市の未来を担う人づくりをめざします～

- 家庭教育支援を充実するにあたり、2021（令和3）年度に発足した「かいなんＰＯＴ」では、新たな講座を開催し、親子が仲間をつくりながら集い、学び合えるような機会を拡充しています。今後は取組の周知徹底や参加者のニーズに応じた講座を開催するなど、家庭教育への支援を更に進めていきます。
- 家庭・学校・地域が一体となって教育における課題を共有し、課題解決に向けて取り組む「地域学校協働活動（地域共育コミュニティ推進事業）」において、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と合同で研修を行い、それぞれの事業内容の理解促進、連携に努めています。

◎　**楽しく学び、人がつながる地域づくりの推進**
～学習活動を通して豊かな出会いの場を創出し、地域の活性化をめざします～

- 旧下津町地域の２地区に公民館が開館し、講座やサークル活動等世代を超えた方々が参加されています。その他の地区においても、公民館活動を活発に行うことで、人が集まり、人がつながる地域づくりを進めています。
- 公民館利用者の高齢化や固定化が進んでおり、若い人や利用したことのない人たちも活動しやすいように、利用者のニーズを確認しながら午前開館に取り組むなど、利用時間の拡大・拡充を図っています。

◎　**いつでも、どこでも、だれもが学べる学習環境の充実**
～市民の多様な学習ニーズに対応し、気軽に生涯学習に親しむことができる環境整備をめざします～

- 各公民館や体育施設等を安心安全に利用できるよう、随時、適切な改修と点検を行っています。また、快適に学習活動に取り組めるよう、トイレの洋式化や空調設備工事などを進めています。
- 海南 nobinos の開館により、図書に親しむ機会を創出するほか、図書館利用促進のため、借りた本の履歴を確認できる「読書通帳」の発行や、自動貸出ができる機器の導入など、図書館の本を借りやすい仕組みづくりにも力を入れています。

第３章　理念と施策

Ⅰ　基本理念

人を育み 人をつなぎ 未来を拓く 学びのまち かいなん

Ⅱ　計画の体系

計画の体系については、第１次計画の基本的な構造を踏襲し、本市の現状と課題を反映させたうえで、基本方針を見直し、具体施策等の設定を行いました。また、策定にあたって浮かび上がった４つの「現状と課題」を、第２次計画における「重点課題」に設定し、この重点課題の解決に向けた視点を反映させながら、各施策に取り組んでいくこととしました。

基本理念

人を育み 人をつなぎ 未来を拓く 学びのまち かいなん

重点課題

1. 社会の多様化と両極化への対応
2. 個人と地域をつなぐ「学び」の重要性
3. 新しい情報発信とニーズの把握
4. 関係機関の連携強化

基本方針と基本施策

（１）一人一人の豊かな人生の実現に向けた生涯学習への取組

①幼少期における生涯学習の充実
②青少年期における生涯学習の充実
③成人期における生涯学習の充実
④高齢期における生涯学習の充実

（２）家庭・学校・地域が共に学び、育ちあう地域づくりへの取組

①公民館活動の充実と学習成果の活用
②家庭・学校・地域の連携
③人権教育の推進

（３）多様なニーズに応じた生涯学習に親しむことができる環境づくりへの取組

①文化活動の支援・充実
②図書館活動の支援・充実
③郷土に関する学習の支援・充実
④スポーツ・健康づくりの支援・充実
⑤情報発信と連携促進
⑥職員研修等の実施

Ⅲ　重点課題への取組

（１）社会の多様化と両極化への対応

この 10 年で、本市の人口は 12.4%減少し、高齢化率が 5.7%上昇しました。また、瞬く間に世界中に広がった、新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、人々のライフスタイルは大きく変化し、「新しい生活様式」に対応した活動が求められています。

そして、これらの変化等を背景として、生涯学習を取り巻く環境や、学習ニーズも多様化しています。同時に、ＩＣＴの進展により学習形態が多様化し、オンライン形式での学習や、対面とオンラインの「ハイブリッド」による学習なども、以前に比べて実施が容易になりました。その結果、積極的に学習活動に取り組む人が現れる一方、ＩＣＴ機器を敬遠し、積極的に参加できていない人もいるなど、両極化も生じています。

このような状況において、それぞれのライフステージに応じ、心身ともに豊かな生活の実現をめざすため、文化やスポーツなどの事業を展開するとともに、年齢に関係なく学び続けることができる環境づくり、誰もが生涯学習に取り組もうとする意識をもてるような「きっかけづくり」が必要です。一生涯のうち、それぞれのライフステージで必要となる学びは異なりますが、自らのタイミングでいつでも学習をスタートし、その成果を生かすことができるよう、切れ目のない支援が必要です。

（２）個人と地域をつなぐ「学び」の重要性

人間関係の希薄化や高齢化、家庭の孤立、家庭や地域の教育力の低下など、さまざまな課題が指摘されています。地域において、交流を通して地域を知るとともに、人をつなぎ、地域の活性化や次世代を担う人を育むよう努めます。

（３）新しい情報発信とニーズの把握

インターネットが急速に普及する中で、さまざまな媒体を活用できるように支援するとともに、効果的な情報発信に努め、必要な時に必要な情報を手に入れることができるよう、また、これから生涯学習を始める方へのきっかけとなるよう情報提供に努めます。

また、幅広いライフスタイルや年代などの状況に応じた学習機会が提供できるよう、アンケート調査を行うなどニーズの把握に努めます。

（４）関係機関の連携強化

公民館、文化施設、体育施設などの関係機関や民間と連携を密にし、それぞれの施設が情報の収集・発信拠点となるなど、効果的な生涯学習の充実を図ります。

Ⅳ　基本方針と基本施策

【基本方針１】
「一人一人の豊かな人生の実現に向けた生涯学習への取組」

「生涯学習」とは文字通り、人が生まれた瞬間から、人生をより豊かにしていくための学習です。推進懇話会の意見では、本市の生涯学習施策は多岐にわたって実施されており、一定の成果は得られているとの意見もいただきましたが、一方では、事業は実施されているが、その情報が伝わりにくい、わかりにくいなどの意見もありました。

今後も、このまちに暮らす子どもから高齢の方まで、すべてのライフステージの方々に学びを提供できるよう努めるとともに、その情報についても、市報などの従来の方法だけではなくＳＮＳなども積極的に活用しながら提供していきます。

基本施策①　幼少期における生涯学習の充実

就学前の子どもたちが、健やかに育ち、保護者が安心して子育てをするためには、「家庭教育支援」の充実が重要な役割を担うことになります。今回の市民アンケートでも「家庭の教育力が低下していると思いますか」の問いに対して「そう思う」が 27%、「少し思う」が 38%と、家庭教育の低下を感じている人が 65%となっており、今後、子どもたちが健やかに育つまちづくりを進めていくためにも家庭教育を支援することが重要だといえます。

本市では、2021（令和３）年度に家庭教育支援チーム「かいなんＰＯＴ」を立ち上げ、地域の人材を生かしながら、子育て中の親子の交流機会や学習機会の提供を進めています。

また、家庭教育支援の充実にあたって、保育所や地域子育て支援センターを所管する子育て推進課や、乳幼児健診などを行う健康課など関係機関との連携を深め、家庭教育が必要な世帯に必要な情報を提供できるよう取組を進めます。

教育基本法　第十条
（家庭教育）
２　国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

主　な　事　業	担　当　課
家庭教育支援事業	生涯学習課
地域子育て支援センター運営事業	子育て推進課
乳幼児健診事業	健康課

基本施策②　青少年期における生涯学習の充実

青少年期の多くが、学校教育の対象となる時期であり、本市では学校教育とも緊密に連携しながら、青少年に対して「生涯における学び」を提供しています。

主な事業に取り組む団体としては、地域社会全体で、次世代を担う青少年の健全な育成をめざして活動する「青少年育成市民会議」や、体験活動を通して子どもたちの成長発達を促す「子ども会」などがあり、これらの各青少年育成団体への支援を行います。

また、青少年への相談事業やパトロール活動、青少年補導などを行う「青少年センター運営事業」、スポーツ活動を通じて青少年の健全育成を行う「スポーツ少年団事業」、家族でともに健康づくりとスポーツ体験を実施する「ファミリースポーツ推進事業」などを展開します。

主　な　事　業	担　当　課
青少年健全育成事業	生涯学習課
青少年センター運営事業	
スポーツ少年団事業	
ファミリースポーツ推進事業	

基本施策③　成人期における生涯学習の充実

今回の市民アンケートでは、「生涯学習」を盛んにしていくためには、生涯学習に関する情報を得やすくすること(21%)、施設等におけるサービスを充実すること(18%)など、学習ニーズに応じたプログラムの提供が必要であるとの意見が多くありました。

今後は、アンケート調査を通して学習ニーズを収集し、新しい講座やプログラム作りの参考としていきます。

主な事業としては、著名人等による講演会を開催する「市民大学教養講座開催事業」、また、新しい施設でニーズに応じた学びの充実を図る「海南 nobinos 指定管理事業」、市内各社会体育施設において、専門性を有する指定管理者によるトレーニングルームやさまざまなスポーツプログラムを実施し、多様な世代のスポーツの機会を設ける「社会体育施設運営事業」の充実に努めます。

主　な　事　業	担　当　課
市民大学教養講座開催事業	生涯学習課
海南 nobinos 指定管理事業	
生涯スポーツ推進事業	
社会体育施設運営事業	

基本施策④　高齢期における生涯学習の充実

本市においても、少子高齢化が進行し、高齢化率は37.3%となっています。高齢の方は、健康づくりへの意識が高い方も多く、高齢期を元気に過ごせるよう健康維持につながる事業や、社会とのかかわりを積極的に持ち続けることができるような事業が必要となります。

また、核家族化の進行や、地縁、血縁等の希薄化による地域での孤立などの課題に対しては、高齢の方が集い、対話できる場を創出していかなければなりません。

今後、関係各課が連携し、地域の方が集い、顔と顔を合わせることができる機会づくりを効果的に進めて行きます。

主な事業として、「生きがい教室開催事業」、「生涯スポーツ振興事業」、高齢介護課の「老人クラブ支援事業」、健康課の「高齢者の保健事業」を行います。

主　な　事　業	担　当　課
生きがい教室（体操・教養講座）開催事業	生涯学習課
生涯スポーツ振興事業	
老人クラブ支援事業	高齢介護課
高齢者の保健事業	健康課

【基本方針２】

「家庭・学校・地域が共に学び、育ちあう地域づくりへの取組」

地域では、人口減少や少子化など社会環境が大きく変化する中で、人と人のつながりの希薄化、家庭や地域の教育力の低下、高齢化や家庭の孤立化など、さまざまな問題が指摘されています。

こうした中で、さまざまな人と出会い、多様な価値観に触れながら生涯学習を進めることが、個人の生きがいを見出すことや、地域や仲間との連帯感や絆を生むことにつながります。

家庭・学校・地域がそれぞれの役割を担い、お互いが共に学び、連携しながら取組を進めることで、子どもたちの健やかな育ちを支え、子どもから高齢の方まで、だれもがつながを深めることができる地域として、活性化することが期待できます。

教育基本法　第十三条

（学校、家庭及び地域住民の相互の連携協力）

学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

基本施策①　公民館活動の充実と学習成果の活用

今回のアンケートや推進懇話会では、本市の公民館活動は非常に活発であるとの意見もいただきました。合併以前の旧海南市では、各小学校区に１館ずつ公民館を設置し、旧下津町においても、合併後、公民館活動に対する地域への協力と理解、参加の呼びかけなどの地道な努力が実を結び、公民館設置への機運が高まったことで、大崎公民館(2015（平成 27）年度)、塩津公民館(2020（令和２）年度)の２館の公民館を設置しました。

公民館を設置していない下津町地域においても地域の施設を利用しながら、公民館活動を活発に展開するとともに、今後も更なる活動の拡大に向け、さまざまな講座の開催や各地区間の情報共有などを図ります。

また、公民館は日常生活に根ざす地域づくりの拠点でもあります。個人の学びを充実させるとともに、地域の人々の居場所となり、多様な世代を結び合わせ、次代を担う人を育み、地域の活性化に大きな役割を果たせるよう、利用者に安全・安心にご利用いただくため公民館を整備し、公民館活動の充実を図ります。

主　な　事　業	担　当　課
公民館運営事業	生涯学習課
公民館活動推進事業	
下津地域公民館活動事業	
公民館整備事業	
集会所講座等開催事業	

基本施策②　家庭・学校・地域の連携の促進

地域コミュニティの形成にあたり、地域の主な核となるのが「学校」と「公民館」です。学校では、子どもたちと保護者、そして地域の方々等が連携し、子どもたちが地域のなかで健やかに育つことができる環境づくりに努めています。

また、公民館での学びや活動が、子どもたちの学びに生かされて、地域が学校の学びを支えることができるよう、「子どもたちのために」を合言葉に、さまざまな取組を進めています。

今後も、地域全体で、子どもも大人も共に育ち、育ち合い、一つに繋がっていくための事業に取り組みます。

主　な　事　業	担　当　課
地域共育コミュニティ推進事業	生涯学習課
地域ふれあい活動事業	
コミュニティ・スクール事業	学校教育課

基本施策③　人権教育の推進

人と人が共につながることができる、豊かな地域コミュニティを形成していくためには、お互いの人権が尊重される社会づくりが重要です。

近年では、女性、障害者、高齢者、外国人、同和問題等、さまざまな人権問題に加え、インターネットやＳＮＳ上での人権侵害等、問題は多様化、複雑化しています。これらを解決するためには、自らの人権の大切さを十分に認識するとともに、正しい知識を持ち、相手の立場を理解することが必要です。

本市では、お互いを尊重することができる社会の実現に向けて、人権に関する啓発活動や学習機会の充実等に努めます。

主　な　事　業	担　当　課
人権教育推進事業	生涯学習課
生きがい教室事業（人権）［再掲］	
人権尊重推進事業	市民交流課

【基本方針３】

「多様なニーズに応じた生涯学習に親しむことができる環境づくりへの取組」

この 10 年間における人口動態の大きな変化や、急激な社会構造の変化を背景として、生涯学習に対するニーズも多様化していると考えられます。

「推進懇話会」などでも「生涯学習事業の情報発信」や「施設間同士の連携」などの重要性についても再確認されました。

今後も、文化やスポーツなどさまざまな事業を展開するとともに、新たな施設と既存の施設を活用しながら、多様なニーズに対応し、それぞれのライフステージにおいて『生涯学習』に親しむことができる環境づくりに取り組みます。

基本施策①　文化活動の支援・充実

文化芸術は心のゆとりと潤いを実感し、活力ある社会を実現していく上で大切なものです。

文化芸術活動を継続していくためには、市民が自主的に文化、芸術に親しみ、個性や創造性を育むことができるよう、さまざまな面から振興を図る必要があります。

文化芸術活動団体への支援に加え、文化芸術活動の発表の場を提供するとともに、文化芸術活動の場として文化施設の適正な管理を行うことで、文化芸術を身近に感じられる環境づくりを行います。

主　な　事　業	担　当　課
公民館文化祭事業	生涯学習課
下津総合文化祭事業	
市美術展開催事業	
文化振興団体支援事業	
市民交流センター指定管理事業	
海南 nobinos 指定管理事業[再掲]	

基本施策②　図書館活動の支援・充実

本市では、中心市街地の賑わいの創出を目的とした、図書館とホールや会議室などの貸館機能、常設の有料託児室や無料の乳幼児向け遊び場、広場などを備えた市民交流施設「海南nobinos」が、令和２年６月に開館しました。館内にはカフェも出店し、静かに本を読む場所という従来の図書館のイメージとは大きく異なる“賑わう図書館”として、令和３年度には年間約58万人が来館するなど、中心市街地における新しいシンボルとなっています。

海南nobinosは、クッション性の高い書架や、押し入れのような閲覧席、寝転んで本を読める読書の森や遊具など、遊びながら本に触れ、好奇心を高める工夫を随所に施しており、あらゆる機会や場所において、本と親しみ、自主的に読書が行える環境づくりに努めています。

下津図書館では、従来からの静かな図書館として、賑わいを創出する海南nobinosとは異なり、落ち着いて読書が行える環境を提供することで多様なニーズに対応しています。

アンケート結果における、社会教育施設の利用目的では、「図書の貸出、読書や閲覧」が最も多い結果となっていますが、各公民館とも連携し、海南nobinos・下津図書館の蔵書を地域の方の身近な地区公民館において借りることができるサービスなどの、更なるPRを行い、市民の読書活動を推進します。

主　な　事　業	担　当　課
海南nobinos指定管理事業[再掲]	生涯学習課
下津図書館運営事業	

基本施策③　郷土に関する学習の支援・充実

本市は、長保寺（国宝）や熊野参詣道紀伊路（国史跡）など多くの文化財が残されており、歴史と文化に恵まれたまちです。地域の歴史について学ぶことを通し、地域への愛着を深めることができ、地域の活性化にもつながります。また、郷土の歴史を、次世代に継承していくことは、我々の責務といえます。

令和３年度から整備中の、（仮称）中央防災公園内に、防災と地域の歴史について体験しながら学習することができる（仮称）体験学習施設が令和７年の完成を予定しており、地域における新たな学習機会の創出につなげていきます。

また、各小中学校とも連携し、市の歴史や文化財などについての出前授業を実施するほか、社会教育施設や学校での文化財の展示を行い、子どもから大人まで郷土の歴史に触れる機会をつくり、地域への愛着づくりに努めます。

主　な　事　業	担　当　課
歴史民俗資料館運営事業	生涯学習課
（仮称）体験学習施設建設事業	
熊野参詣道（紀伊路）保存整備事業	

基本施策④　スポーツ・健康づくりの支援・充実

本市では、令和２年度に「第２期海南市スポーツ推進計画」を策定し、「スポーツを通じた運動習慣づくりと体力の向上」、「ライフステージに応じたスポーツ機会の提供」、「地域の特性を活かしたスポーツ環境づくり」に取り組み、「だれもが、いつでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた元気・ふれあいのまちづくり」に取り組んでいます。

今回のアンケートにおいても、「あなたは、この１年間でどのような「生涯学習」をしましたか」の問いに対して「健康づくり（スポーツ・健康・栄養など）」が 19％と最も高く、スポーツ・健康づくりに非常に関心があることがわかります。

これからも、だれもが参加できるスポーツイベントの開催や、レベルに合わせたスポーツ機会づくり、また、社会体育施設の整備・充実による、ライフステージに応じたスポーツ・健康づくりの機会の創出に取り組みます。

主　な　事　業	担　当　課
生涯スポーツ振興事業 （ファミリースポーツ推進事業など）［再掲］	生涯学習課
競技スポーツ推進事業 （ジュニア駅伝、市民スポーツ大会など）	
きのくに海南歩っとウオーク事業	
体育施設管理事業	
総合型地域スポーツクラブ推進連絡会議事業	
地域健康づくり事業	健康課

基本施策⑤　情報発信と連携促進

生涯学習を始めるきっかけづくりとして、また、熱心に取り組んでいる方が、より充実した活動に取り組むためにも、積極的に情報を発信することなどが求められます。

アンケート調査からもうかがえるように、より多くの方々に生涯学習についての情報を届ける手段については、広報紙が最も有効な手段の一つであると考えられますが、自分の欲しいときに欲しい情報を入手していただくため、市ホームページやメール配信サービス、ＳＮＳなどを活用し、情報を発信します。

そのほか、行政からの発信だけでなく、アンケート調査などを行い、市民のニーズを把握し、生涯学習に関するさまざまな施策に反映できるよう進めます。

また、子どもから高齢の方までさまざまな年代の方々にとって、生涯学習がより身近なものとなるよう、生涯学習課だけでなく、関係各課や団体とも情報の共有や事業の連携などに努めます。

主　な　事　業	担　当　課
家庭教育支援事業	生涯学習課
公民館活動推進事業	

基本施策⑥　職員研修等の実施

生涯学習の分野は幅広く、また子どもから高齢の方まで、さまざまな年代の方々にかかわることから、生涯学習に関係する各部署間において定期的に協議を行い、情報を共有していきます。また、職員の資質向上を図るための研修会を開催します。

公民館活動の中核を担う「中央公民館」が、館長や主事などの公民館関係者への研修を行うとともに、地区公民館同士や関係機関との連携を進め、情報の収集・発信の拠点として、活動を推進します。

主　な　事　業	担　当　課
中央公民館運営事業	生涯学習課
海南市公民館連絡協議会事業	

第２次海南市生涯学習推進計画策定までの経緯

【令和４年２～３月】

「生涯学習に関する市民アンケート」実施

【令和４年４月】

生涯学習推進計画推進懇話会メンバー公募

【令和４年６月】

生涯学習推進計画推進懇話会発足

第１回生涯学習推進計画庁内作業部会開催

【令和４年７月】

第１回生涯学習推進計画推進懇話会開催

【令和４年８月】

第２回生涯学習推進計画推進懇話会開催

第１回社会教育委員会議開催

【令和４年９月】

第２回生涯学習推進計画庁内作業部会開催

【令和４年１０月】

第３回生涯学習推進計画推進懇話会開催

第２回社会教育委員会議開催

【令和４年１１月】

第３回生涯学習推進計画庁内作業部会開催

【令和４年１２月】

第３回社会教育委員会議開催

【令和５年１～２月】

「第２次海南市生涯学習推進計画」(案)パブリックコメント実施

【令和５年１月】

海南市教育委員会１月定例会にて中間報告

【令和５年２月】

海南市総合教育会議に報告

第４回社会教育委員会議開催

【令和５年３月】

海南市教育委員会３月定例会にて最終報告、承認

「第２次海南市生涯学習推進計画」策定

海南市社会教育委員 名簿

役 職	氏　名	所　属　団　体
議長	辻 敏弘	海南市青少年育成市民会議
副議長	多田　玻留美	亀川地区人権尊重推進員会
委員	村田 和子	学識経験者 （和歌山大学紀伊半島価値共創基幹 Kii-Plus 生涯学習・リカレント教育推進室）
委員	森下 順子	学識経験者 （和歌山信愛大学教育学部 子ども教育学科准教授）
委員	硲　喜樹	元　加茂川地区人権尊重推進員会
委員	宗 秀昭	北野上公民館長
委員	神田 真奈美	海南市文化協会副会長
委員	土井 安博	海南市校長会（海南市立亀川小学校長）

生涯学習推進計画 推進懇話会名簿

役 職	氏 名	所 属 団 体
座 長	村田 和子	学識経験者・社会教育委員 （和歌山大学紀伊半島価値共創基幹 Kii-Plus 生涯学習・リカレント教育推進室）
メンバー	森下 順子	学識経験者・社会教育委員 （和歌山信愛大学教育学部 子ども教育学科准教授）
メンバー	辻 敏弘	社会教育委員 海南市青少年育成市民会議
メンバー	馬場 一博	海南市公民館連絡協議会 海南市歴史民俗資料館運営審議会 文化財保護審議会
メンバー	中西 智美	家庭教育支援員・公民館利用者代表
メンバー	福田 佳史	海南市図書館協議会委員
メンバー	津毛 望	海南市スポーツ推進委員
メンバー	宮尾 英作	海南市人権尊重推進協議会
メンバー	倉方 弥生	海南市健康推進員
メンバー	口井 順子	海南市子育て支援センター
メンバー	井邊 勤	海南市老人クラブ
メンバー	倉橋 良明	公募